

# 旭ろうさい病院ニュース

病院情報誌 第165号

令和2年12月1日発行

発行所:旭ろうさい病院

〒488-8585

尾張市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

## 当院でのがん化学療法について

外科部長 井田 英臣

がん化学療法認定看護師 磯尾 晶子

新規抗癌剤の開発や副作用軽減のための支持療法が向上したことにより、現在、がん化学療法は外来通院での治療が中心になってきています。外来化学療法の目的は、患者さんのQOLを可能な限り損なうことなく治療を継続し、治療効果を発揮することにあります。

当院では2019年5月の移転に伴い、14床の外来化学療法センターを開設しました。ここでは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・両立支援コーディネーターが連携を図りながら患者さんの情報を共有し、チーム医療に取り組んでいます。



カーテンで仕切り、テレビを見ながら治療を行います



希望される方のために、椅子も用意してあります





栄養指導室では食事内容、調理法、  
栄養補助食品などを提案します

#### ・両立支援コーディネーター

厚生労働省の統計では、がん患者さんの34%が治療を継続できず離職しており、そのうち40%が治療を開始する前に離職しているという報告があります。治療のために離職することなく、仕事を継続するために「両立支援コーディネーター」の役割が重要となってきます。仕事との両立支援における3大テーマは「子育て」「介護」「治療」で、なかでも治療と仕事との両立は子育てや介護と異なり、時間や金銭的な要因だけでなく、ご自身が患者として治療を受けるという特殊性があります。医療という専門性や社会福祉資源の複雑さもあり、患者本人・家族だけでは対処しきれないことも多くあります。両立支援コーディネーターは患者（労働者）に対する医療と職場の理解が深まるようにサポートしています。

最後に、患者さんが安心して外来化学療法を行えるようにするためには、かかりつけ医の先生方と治療経過を共有していく必要があります。また、終末期を迎えた際は、在宅緩和ケアなどでご協力が必要になるかと思えます。どのように連携を取っていくかはまだまだ課題があり、先生方の日常診療にご迷惑をおかけすることもあるかと思えますが、今後ともご指導いただきますよう宜しくお願い致します。

